



正副会長会議の様子

令和二年度公益財団法人茨城県消防協会第一回正副会長会議が四月十七日(金)に茨城県立消防学校において開催されました。  
会議では、理事会等への提出議案について確認を行ったほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の主な事業対応についての意見交換が行われました。

# 令和二年度 第一回正副会長会議の開催



4・5月号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
(有)堀口印刷  
1部 15円  
(購読料は負担金に含まれています)

この結果、五月八日(金)に予定していた第一回定時理事会を、やむを得ず書面による評決とすること、七月七日(火)〜八日(水)に予定していた消防団長研修を延期することなどが確認されました。

## 令和二年度 第一回定時理事会 (書面開催)

令和二年五月八日(金)に予定されておりました令和二年度第一回定時理事会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定款第三十五条第二項の規定による書面評決を提案し、全ての理事から各議案について承認する旨の意見書が提出されたため、いずれも原案どおり承認・可決されました。

### 【第一回定時理事会議案】

- 第一号議案  
平成三十一(二〇一九)年度事業報告
- 第二号議案  
平成三十一(二〇一九)年度会計決算
- 第三号議案  
評議員会の招集

# 県立消防学校 初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き2期制となり、まず前期の第109期入校式が、4月8日(水)午前10時から県立消防学校において、県内21消防本部から総勢105名の学生を迎え挙行されました。

式典は、学生宣誓に続き、式辞(大島学校長)、知事告辞(井上消防安全課長)、続いて県消防協会(葉梨会長)、消防長会(小泉会長)の来賓祝辞がありました。

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。



会長祝辞



学生宣誓



○富田 光一(六十八)  
元 下妻市消防団 団長  
消防歴 四十六年四月  
下妻市在住

【瑞宝双光章】

○草間 順司(七十一)  
元 常総市消防団 団長  
消防歴 四十二年  
常総市在住

○谷藤 俊一(七十)  
元 鹿島地方 消防正監  
消防歴 四十年九月  
神栖市在住

【瑞宝小綬章】

○川井 寛(七十)  
元 稲敷広域 消防正監  
消防歴 四十二年  
龍ヶ崎市在住

○松本 勝男(七十)  
元 日立市 消防正監  
消防歴 四十二年  
北茨城市在住

《春の叙勲》

令和二年  
春の叙勲・褒章

令和二年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日(水)に総務省から発令されました。本県からは、春の叙勲が十四名、第三十四回危険業務従事者叙勲が十八名、藍綬褒章が二名、合計三十四名の皆様が受章の栄に浴されました。受章者の皆様の永年にわたる「尽力」と「功績」に対し、心からの感謝と敬意を表します。以下、順不同にて受章者の略歴をご紹介します。※( )は発令日現在の年齢

○寺田 博司(七十五)  
元 牛久市消防団 団長  
消防歴 三十九年一月  
牛久市在住

【瑞宝單光章】

○小林 透(七十三)  
元 石岡市消防団 団長  
消防歴 四十一年  
石岡市在住

○片岡 賢司(七十)  
元 つくば市消防団 副団長  
消防歴 四十一年  
つくば市在住

【瑞宝單光章】

○野澤 信明(七十三)  
元 筑西市消防団 団長  
消防歴 五十年  
筑西市在住

○米川 不二夫(八十一)  
元 大洗町消防団 団長  
消防歴 五十八年三月  
大洗町在住

【瑞宝單光章】

○久保 幹男(六十五)  
元 水戸市 消防監  
消防歴 四十一年九月  
水戸市在住

○畠津 豊(六十八)  
元 土浦市 消防監  
消防歴 三十七年  
土浦市在住

【瑞宝双光章】

○川上 正之(六十五)  
元 日立市 消防司令長  
消防歴 四十二年  
日立市在住

○大山 俊夫(六十五)  
元 常総広域 消防監  
消防歴 四十二年  
常総市在住

【瑞宝双光章】

○大津 英一(七十一)  
元 笠間市 消防司令長  
消防歴 三十九年九月  
笠間市在住

○宮田 務(七十一)  
元 日立市消防団 副団長  
消防歴 四十年三月  
日立市在住

《第三十四回 危険業務従事者叙勲》

○塙 一利(六十六)  
元 土浦市消防団 副団長  
消防歴 四十一年一月  
土浦市在住

○吉澤 一治(六十五)  
元 常陸太田市消防団 副団長  
消防歴 四十三年三月  
常陸太田市在住

○庄司 博(六十五)  
元 水戸市 消防司令長  
消防歴 四十一年九月  
水戸市在住

○白井 孝一(六十八)  
元 土浦市 消防監  
消防歴 四十二年  
土浦市在住

○高梨 幸雄(六十五)  
元 常総広域 消防監  
消防歴 四十二年  
坂東市在住

○野口 二三男(六十八)  
元 常総広域 消防監  
消防歴 四十二年  
常総市在住

○萩野谷 孝(六十六)  
元 那珂市 消防司令長  
消防歴 四十二年  
那珂市在住

○文随 明夫(七十一)  
元 取手市 消防司令長  
消防歴 三十八年四月  
つくばみらい市在住

○堀江 修(六十五)  
元 常陸大宮市 消防監  
消防歴 四十一年十一月  
常陸大宮市在住

**【瑞宝章】**

○吉原 耕治(六十八)  
元 筑西広域 消防監  
消防歴 三十七年九月  
筑西市在住

○阿部 三雄(六十五)  
元 つくば市 消防司令長  
消防歴 三十九年六月  
美浦村在住

○大河 智男(六十六)  
元 水戸市 消防司令長  
消防歴 四十年九月  
城里町在住

○園部 光一郎(七十一)  
元 水戸市 消防司令  
消防歴 三十九年十一月  
水戸市在住

○緑川 一司(六十五)  
元 北茨城市 消防司令長  
消防歴 四十二年  
北茨城市在住

○山田 茂(六十九)  
元 日立市 消防司令長  
消防歴 四十二年  
日立市在住

○小菅 康司(六十二)  
現 八千代町消防団 団長  
消防歴 三十四年十一月  
八千代町在住

○土信田 政司(六十九)  
現 つくば市消防団 団長  
消防歴 四十四年一月  
つくば市在住

**日本消防協会主催  
消防団幹部候補  
中央特別研修**

日本消防協会主催による第十九回消防団幹部候補中央特別研修が、行方市及び大子町の消防団員が参加し次の日程で実施されました。

○男性消防団員の部  
令和二年二月五日(水)～七日(金)  
(二泊三日)

(参加者)  
行方市消防団  
分団長 額賀 勇八  
副分団長 本田 竜一

○女性消防団員の部  
令和二年二月十九日(水)～二十一日(金)  
(二泊三日)  
(参加者)  
大子町消防団  
部長 小室 理恵  
班長 齋藤 佳子

**「第十九回消防団幹部候補  
中央特別研修」に参加して**

令和二年二月五日から二月七日までの三日間、公益財団法人日本消防協会主催の「第十九回消防団幹部候補中央特別研修」が東京都虎ノ門日本消防協会において開催されました。

全国から男性消防団員の部として、百三十六名もの参加者があり、会場に到着した時は少なからず不安と緊張もありましたが、茨城県の代表としての責任、そして、参加できる感謝の気持ちを忘れず研修に臨みました。

研修では、秋本日本消防協会会長の講話に始まり、各講師の先生方の講義は、平成三十年七月豪雨における消防団の活動事例紹介や、災害情報、危機管理、都市防災、避難所運営など、どれも興味深いもので、今後の消防団活動に生かし、それを日々考えることが重要であることが気付かされました。

三日間研修をした中で一番印象に残っているのが、グループに分かれての課題討議です。私のグループでは「サラリーマン化が進む中での効果的の活動方策について」というテーマで、討議を行いました。

全国の都市部・地方の様々な地域から参加しているグループメンバーでしたので、各地域によっていろいろな課題がありました。

現状の課題としては、サラリーマン化に伴い、日中の就業時間内の出勤が困難であること。市外企業の勤務の場合に災害現場への到着に時間がかかること。さらに、休日活動に対する家族の理解が得られにくいなど、様々な課題を抱えていることがわかりました。

対策としては、企業への消防団協力事業制度の推進及び、理解と協力体制の構築。勤務形態に合わせたローテーション(当番制)などの柔軟な対応が必要であると考えました。そして、サラリーマン化の弱点である昼間帯については、消防団OBによる機能別消防団員の組織化や、公務員・県職員・市町村職員など地方公務員の加入についても、これまで以上に積極的に取り組んでいく必要があると考えました。

この研修に参加して、消防団の存在がさらに重要だと確信し、団員の高齢化や団員数の減少など、現実には消防団を取り巻く環境は厳しさを増していることも感じました。とりわけ、消防団員数の確保は、最大の課題であると思います。かつての自分もそうでしたが、数多くの若者には、消防団に入ることへの抵抗感や不安感が必ずあると思います。しかし、住民の「安心と安全を守る」ことを担う

消防団活動は、その責務から、確かにつらい訓練もあることは事実ですが、個人にとっては、大変価値のある活動である

と、私は経験を通じて感じていきますし、団員にも伝えていきたいと思っています。

また、研修を通じて、これから起こりうる大規模災害に備えて、地域防災力の大切さ、防災力を高める必要性を痛感しました。自分の命は自分で守るとい

「自助」の意識を高めるよう地域住民に啓発活動をすると同時に「共助」・「公助」の架け橋になることが重要な役割だと感じました。



行方市消防団の額賀さん

「第十九回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

大子町消防団

部長 小室 理恵

令和二年二月十九日から二月二十一日までの三日間、日本消防協会主催で開催された「第十九回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました。

女性消防団員の部として全国各地から九十四名が参加して開催された研修は、

緊張の中消防団員らしい規律のある開講式で始まり日本消防協会秋本敏文会長から、「変化のなか、更なる充実発展を目指す日本消防について」の講話がありました。自然災害の多発化、大規模化、激甚化する近年の災害において消防活動の拡大多様化を再認識することが出来まし



大子町消防団の小室さん

二日目には、全十班に分かれての課題討議や高知県土佐市消防団分団長 嶋崎信子氏、リスコムユニケーター 長谷川祐子氏からそれぞれ講義があり、その地域に必要なプログラムを自分達で準備をしなければならぬことや、アメリカでは子供の頃に積極的な危機管理教育を受けることで危機回避能力が育まれることなど、私たち女性消防団員にとっても活動の参考となるものでした。

また、東京消防庁池袋防災館の視察では、起震車による地震体験、水消火器体験、火災時の避難体験、災害ビデオ鑑賞を実施してきました。体験だとなかいかけても恐怖を感じ思い通りに動けないこともあり、実際の災害時に正しい選択をする為には、日頃から訓練や知識の向上、防災対策への準備が大切だと思いました。最終日には、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授阪本真由美氏、国立館大学防災・救急救助総合研究所教授

山崎登氏の講義の中で、自治体による避難情報発令における住民の行動心理について、参考となるお話を伺うことができました。

また、受講者による課題討議の中で、女性消防団員の役割が期待されている今、女性ならではの視点を生かして地域に密着した活動を心がけ、住民とともに安心して生活できる地域社会を築いていきたいと思いました。

最後にこの研修は、得ることが多い有意義なもので、女性消防団員であることを誇りに思うと同時に、これからも日々研鑽を積んでいきたいと思えます。このような素晴らしい研修を受ける機会を与えていただきました、関係各位の皆様には深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

編集後記  
発行にあたり、消防団幹部候補中央特別研修について、ご寄稿いただきました行方市消防団 額賀様、大子町消防団小室様にお礼申し上げます。(よ)

オリジナル Tシャツ  
アポロキャップ  
徽章類  
消防グッズ各種  
水戸スポーツ株式会社  
水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
(株)モリタの各種消防自動車  
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。  
その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材  
茨城県代理店  
有限会社 鈴 機  
〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic  
自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン  
パナソニック株式会社 特機商品代理店  
株式会社入江電機工業所  
本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613  
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540  
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

トーハツ小型消防ポンプ  
VE90AS 最大量1.5m<sup>3</sup>毎分  
VC72PROIII 操法最適  
VF63AS 4ストローク B2級  
VF53AS 4ストローク B3級  
VF21AS 4ストローク C1級  
消防服装 消防器 防災備蓄食品  
船外機 発電機 消防資機材  
茨城県代理店  
トキワ産業株式会社  
水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360